

◎カリメート散・◎ドライシロップ・◎経口液, ◎ポリスチレンスルホン酸 Ca 経口ゼリー [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】ポリスチレンスルホン酸カルシウム Calcium Polystyrene Sulfonate 【分類】血清カリウム抑制剤

【単位】◎5g/包, ◎DS 5.4g/包 (92.59%), ◎経口液 25g (20%), ◎25g/ゼリー [5g 相当]

【常用量】15~30g/日

【用法】分2~3

■注腸：1回30gを水または2%メチルセルロース溶液,あるいは5%ブドウ糖液100mLに懸濁して注腸,30分から1時間腸管内に放置。

■カリメート散を水で懸濁すると発熱する

【透析患者への投与方法】減量の必要なし。ただし、便秘に注意し、下剤を適切に併用(5)

便の腸管通過障害により結腸穿孔を引き起こすことがあるので、便秘しやすい患者にはソルビトールなどの適切な下剤を最初から併用する。硬便がすでにある場合には取り除いてからソルビトールを投与する(5)

75g/日 [ゼリーと思われる] 投与されていた便秘傾向のHD患者で腸管穿孔をきたした症例(粕本博臣,他:透析会誌 47: 737-42, 2014)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし。便の腸管通過障害により結腸穿孔を引き起こすことがあるので、便秘しやすい患者にはソルビトールなどの適切な下剤を最初から併用する。ただし硬便がすでにある場合には取り除いてからソルビトールを投与する(5)

【その他の報告】保存期CKD患者に対してNaレジンと同等の効果あり(中山陽介,他:日腎会誌 58: 304, 2016)

平均8gの少量でもGFR30未満のCKD患者の血清Kを低下させ長期投与でも有効性は保たれる(Yu MY, et al: PLoS One 2017 PMID: 28328954)

【特徴】カルシウム型の陽イオン交換樹脂。腸管内、特に結腸付近でKイオンを交換し、1日15~30gの投与で血清K値を約1mEq/L抑制するといわれる。経口ゼリーは散剤服用時のザラザラ感を抑えたゼリー剤で、1個あたりに含まれる水分は散剤服用時に必要とされる水分量に比べ少ない利点がある。

乾燥した製剤として、1gあたり53~71mg (1.36~1.82mEq)のカリウムと交換する(vitro)。

【主な副作用・毒性】便秘(便秘に伴って結腸穿孔を起こすことがあるので、投与に際してはソルビトール液を経口投与するなど便秘の防止に努めること。また便秘を起こしやすい薬剤の併用に注意すること)、悪心、嘔気、食欲不振、胃部不快感、発疹、低カリウム血症、腸管穿孔、腸閉塞、大腸潰瘍など

【吸収】吸収されない(1) 微粒子は吸収される可能性があるが、製剤中の微粒子含有率を0.1%以下に規制(1)

【排泄】糞便中排泄(1)

【相互作用】Al, Mg含有製剤やCaCO₃等のCa含有製剤、重曹などのカチオン製剤と併用する場合には非選択的にカチオンが交換され、効果が減弱する可能性があるためカリメートの服用時間を食間にする(5) 甲状腺ホルモン剤を吸着するので服用時間をずらす(1) アルギン酸Na併用で両者の効果が減弱(1)

【備考】ゼリーにはりんご味の専用フレーバーが選択できる。注腸時は散剤を選択。Ca含有率7~9%。

【更新日】20211108

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。